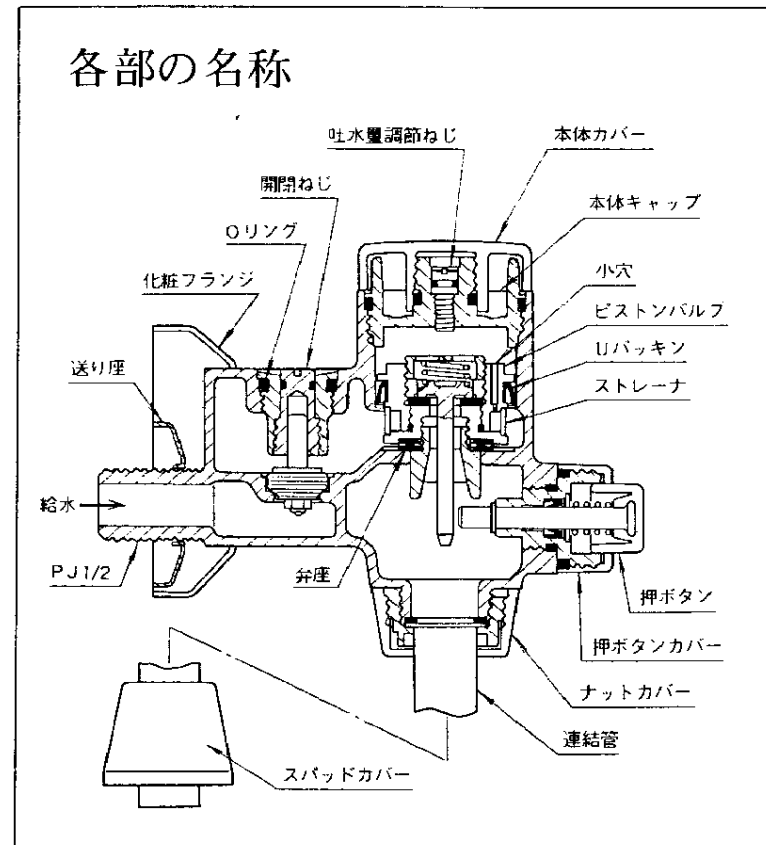


# TOTO フラッシュバルブ(小便器用)施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 各部の名称



## 使用条件

### ●使用水压

最低必要圧力……0.07MPa

最高圧力………0.7MPa

使用水压が条件外の場合は、次のような支障がありますのでご注意ください。

※0.07MPa以下では作動が不確実になるばかりでなく、便器洗浄に必要な水勢が得られません。

※0.7MPa以上では故障の原因となります。

### ●配管の器具との接続部を壁面と合わせてください。

## 器具の取付

### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ・砂などを完全に洗い流してください。

### 2. 本体の取付け

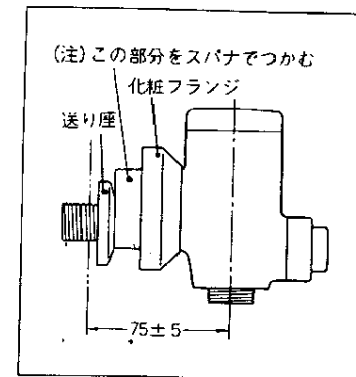
フラッシュバルブ本体を次の手順で垂直(本体カバーが上)に取付けてください。横向きになると正常な機能を発揮しないことがあります。

- (1) 開閉ねじをねじ込み、化粧フランジを手前にずらす。
- (2) 送り座を手前にずらし、本体のスパナ掛りを利用して給水管にねじ込む。

(このとき、壁面から本体芯の寸法を $75 \pm 5$ mmの範囲で小便器の接続に合うように取付けてください。)

- (3) 送り座を壁面にねじ込んだ後化粧フランジを壁面に押し当てる。
- (4) 連結管を接続した後、ナット

カバーを手締めし、スパッド側はスパッドカバーをセットする。  
(注) 本体カバー、ナットカバーには工具をかけないでください。



## 水勢の調節

水圧の高低によって水勢が変わります。  
水勢が強すぎると水飛びを生じたり、洗浄音が高くなったりします。  
また水勢が弱すぎると十分な洗浄ができませんので、次の要領で水勢の調節を行ってください。

※ 開閉ねじによって水勢の調節を行います。

右回転 …… 水勢が弱まります。  
左回転 …… 水勢が強くなります。

(注) 調節が可能な範囲は全閉から3回転程度です。

## 吐水量の調節

洗浄状態を確認して吐水量の調節が必要なときは、次の要領で調節を行ってください。

※ 本体カバーを取外し、吐水量調節ねじによって行います。

右回転 ———— 吐水量が減少します。  
左回転 ———— 吐水量が増加します。

(注) 調節が可能な範囲は、最大ねじ込みより3回転程度です。

調節が終わったら、本体カバーを手で十分に締付けてください。

## ストレーナ及び小穴の掃除

水が止まらなかったり、吐水量の調節ができない場合は、次の要領でストレーナ及び小穴の掃除をしてください。

- ストレーナは柔らかいブラシなどで掃除してください。
- 小穴は細い針金で掃除してください。(荷札の針金など)

本体キャップの取付けは、容易に緩められる程度に軽く締付けてください。

(注) ビストンバルブを収めるときは、じパッキンがめくれないよう、また弁座に乗り上げないように注意してください。

## お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。  
ただし樹脂部(本体カバー・押ボタン・押ボタンカバー・ナットカバー・化粧フランジ)に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など、粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。  
もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

※ 同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡できない場合は、工事完了後製品に吊り下げておいてください。